

あきらめないで。2020 年の私

(原文)

尾崎 惺 (13 歳)

東京都

東京学芸大学付属世田谷中学校

突然ですが、あなたは「10 年後の世界」がどのようになっていると思いますか？ あなたはきっとこう思っていたはずです。「このままだと、地球温暖化が進み、多くの地域で人が暮らせなくなってしまふ。そしてアフリカなどの貧しい人々との貧富の差は、一向に改善されないだろう」と。でも今は、それが改善されつつあります。2020 年の時より、人々は「みんながより良いと思える世界」をつくろうと、必死に頑張っています。そう、それも自発的に。人々は昔より、「他人へ感謝」をするようになりました。私もそのうちの一人です。「自然への感謝」、「生活品を作ってくれている人への感謝」。今、考えてみれば「感謝」は、「謙虚さや生きる喜び」を与えてくれ、それは「自身や人々の幸せ」を与えてくれたとつくづく思う。

さて、今のあなたはどうかでしょうか。他人に十分な感謝をしていますか？ 身の回りにある、「当たり前」に感謝をすることで、それが将来への行動へつながります。しかし今、あなたは中学生なので、大人と同じことをするのは難しいでしょう。しかし、そんなあなたにも出来ることは沢山あります。例えば、「このように意見を発信したりすること」です。環境問題や貧富問題には、なにか新しいアイデアが常に求められています。あなたが書き続けている投書も、将来絶対に役立つはずですよ。私達が今おこなっているボランティア活動も、いろいろなアイデアに何度も救われました。

そして、2020 年に起きていた争いも、今ではすっかり無くなりました。たぶんそれは、「みんな」が幸せになったからでしょう。今は、みんなに教育などの機会が平等に与えられ、とても公平な世の中になっています。

まさに、2020 年の日本のようです、今は、みんなが自分の目標を目指せるすばらしい世の中ですよ。そして、貧困地域の雇用も大幅に増えました。発展途上国で、まずは第一次産業を盛んにするため、沢山のボランティアが協力したのです。それも、一人ではありません。みんながです。私自身も、みんなに呼び掛けを行っています。特に恵まれた国に生まれたあなたは、もっと積極的に行動しても良いかもしれません。あなたの行動次第で、沢山の命が救えます。

教育現場も大きく変わりました。まず、2020 年の時より、教育を受ける子供の数が増えました。なぜなら、IT 技術の進歩が、教育現場に応用されたからです。教育が何らかの理由で充実していない地域には、「オンライン授業」を取り入れました。これにより、すべての子供たちが不便を感じることもな

く、教育を受けられるようになりました。また、それらの費用は、ほとんどが寄付金です。私も一人の人間として寄付をしました。

あなたは一人の中学生、いや一人の人間として、いろいろな「子供だから感じる事」を発信してください。特に、教育に関しては、「子供が感じている事」に大きなヒントが隠されているのです。「自分だからできる事」を大切にしましょう。

こうして、この「みんなが暮らしやすい世界」になったのは、「自分ができる事」を一人一人が考え、実行したからです。中学生のあなたにできる事は沢山あります。「意見を発信すること」。「まずは、その実態について知ること」などです。決して「一人の努力で変えられる訳がない」と、諦めてはいけません。その一人一人の努力が、結果的に世界を救うのです。